

麦作りから考えたSDGs

秩父市立大田小学校 四年 富田 花和

わたしの家の前には麦畑が広がっています。今年の六月に、しゅうかくした麦カラで作った大きなロールが麦畑にたくさんあって、わたしはそのロールが何になるのかきょう味を持つたので麦のことについて調べてみることにしました。わたしの祖父が作っている麦は、ニジエう大麦のゴールデンメロンです。

大麦作りは九月から始まります。まずは土作りです。畑にたいひ、土じょうかい良ざいケイカルをまきます。横十メートル、たて百メートルの広い畑を使います。十月の下じゅうんに種まきをします。種はハキログラム使うそうです。冬の間しもで麦の種がうかないように、麦ふみを三回くらいします。麦が生えてきてからは強くするために二回麦ふみをします。麦ふみは昔、自分の足でふんでいたそうですか、今はきかいを使ってローラーで麦ふみをしています。しゅうかくは六月の上じ

ゆんごろです。麦の先のほが重くなつてまが
つたらしゅうかくします。しゅうかくした麦
はかんそうさせてからウイスキーを作る材料
になります。祖父の作つた麦カラで世界一の
ウイスキーが出来ることを知つておどろいた
し、わたしの住んでいるところはすてきな場
所なんだと思いました。

今年から麦をかつた後の麦カラは、畑でか
んそうさせてからジャイロ機で集めて、ロー
ルベラーで大きなロールにしています。今

牛のエサ代が高くなつていたので太田でとれ
た麦カラを太田の牛のエサにできるように、
むだなく使えるやり方をためしているそうで
す。地元でとれた麦カラを牛たちはとてもお
いしそうによく食べていたと聞きました。地
元産のおいしいエサを食べた牛のおいしい牛
乳をわたしたちが飲んで、牛のたいひはまた
畑を作るために使われます。しはんがむだな
く何度もじゅんかんでききる工夫をしています。

最近SDGsという言葉をよく聞きます。

S D G s はわたしたちみんなが一つしかない地球でくらし続けられる「持続かのような世界を实かんするため、進むべき道をしめしたナビのようなものと書かれています。

ウイスキーを作るために育てている麦だけれど、それだけで終わりにせず、のこった麦からもおだなにならないように使い方を考えたためしています。太田で行なっている麦作りのように、いろいろなしかんのだじゅんかんを考えた生活をする事で持続かのような世界を实かんすることに一歩近づくのではないかと思います。